

NIRGUNNA

Ver 1.0.0 ユーザーズマニュアル

イントロダクション

この度は INTELLIGENT WIRE NIRGUNA をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

NIRGUNA はPsyTrance Bassの制作に特化したシンセサイザーです。

PsyTrance Bassの性質を、柔軟に編集可能な仕組みが

シンプルに操作できるよう設計されています。

NIRGUNAで、あなたのクリエイティビティを最大限に引き出してください。

1.Header

NIRGUNA



empty



- NIRGUNA LOGO
マウスクリック時、GUI表示倍率の変更ボタン、ソフトウェア情報が表示されます。
- プリセットウィンドウ
プリセットのセーブ・変更

2.OSC Selector



Arc Phase



Chirp Phase



Sine



Wave Table

再生、または編集するOSCを4種類から選択します。

3.OSC ArcPhase

このOSCは、SAW波形の位相を編集するモードです。

上部のスペクトルエディタは波形の性質を表示するのみで、操作はできません。

下部エディタでカーブを操作すると、位相が編集され波形が変化します。

カーブエディタは、横軸に1~512倍音の位相
縦軸に位相範囲が割り当てられています。

縦軸の位相範囲は、 $2\pi * \text{Phase Cycle}$ です。



4.OSC Chirp Phase

このOSCは、2種の波形の性質を合成するモードです。

ひとつはSAW波形、もうひとつはChirp Signal、
いわゆるキック波形のようなものです。

- ・ SAWのパワースペクトル
 - ・ Chirp Signalの位相スペクトル
- これらを反映させた倍音構成になります。

この方式は、整った波形が生成しづらいですが、
波形の前半において、音のクリック感を調整しやすい
メリットがあります。



5.OSC Sine

このOSCは、先述したChirp Signal、つまりSine波によるキック波形のようなものを作成します。

波形の性質上、ほぼ確実にDC成分を含みますが、非常に力強い波形が生成できます。

後述するOSC Wavetableで編集することを前提としています。



6.OSC Wavetable

このOSCは、それぞれのOSCで作成した波形を取り込み編集可能なモードです。



7.カーブの作成

カーブポイント、ブレークポイントといった
2種類のポイントを使用し、ベジェカーブが作成できます。

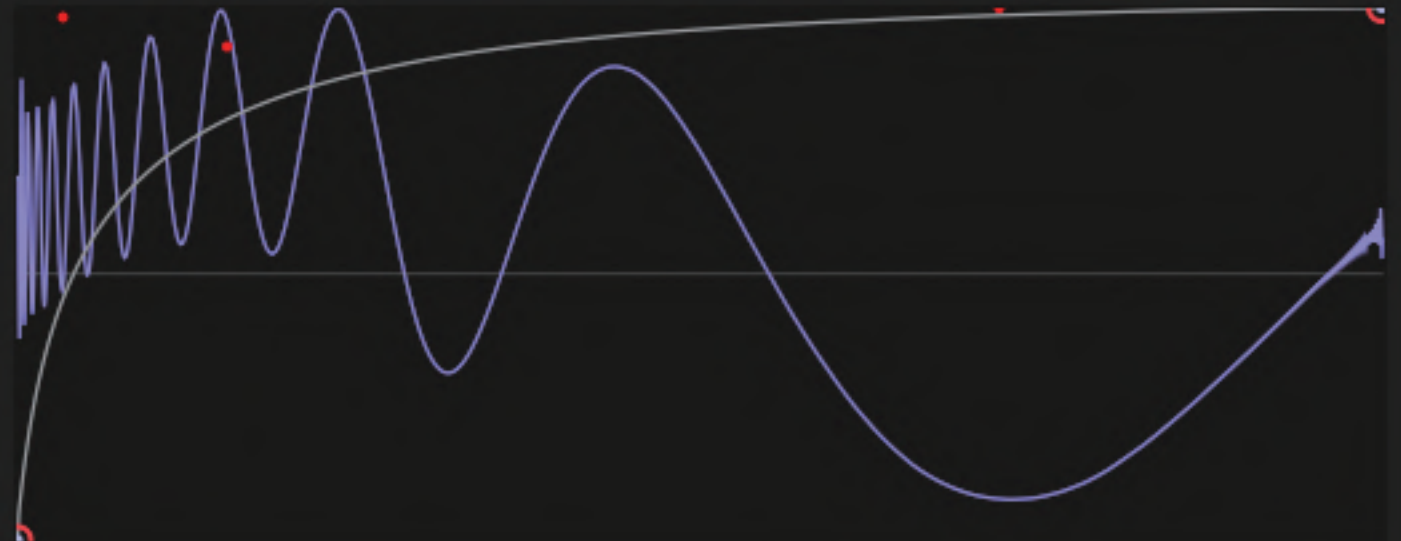
何も無い場所でマウスクリックするとブレークポイントが作成され
ドラッグするとカーブポイントが作成されます。

いずれもダブルクリックで削除されます。

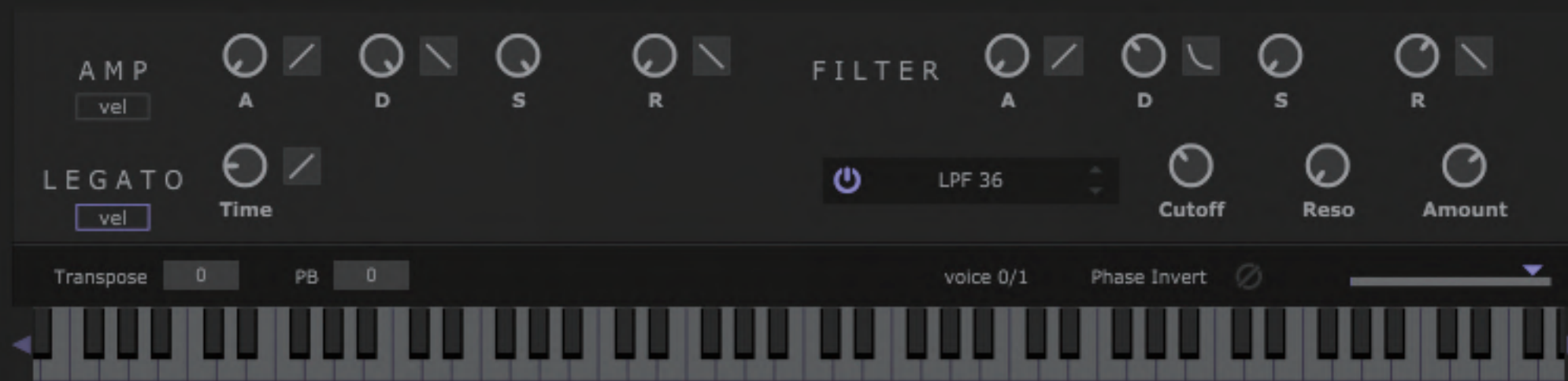
作成されたポイントはマウスホイールにて曲率変化を
行えます。

ポイントのドラッグにて、ctrlを押すと微調整モード
shiftを押すと、移動方向・移動範囲の制限モードになります。

またNIRGUNAのソフトウェア内では、これらのポイントを
Segmentと呼称しています。



8.General



一般的なシンセサイザーの機能となります。

各ENVのカーブはEXP、POWから選択可能です。

LEGATOのvelが有効時、設定されたTimeをもとに

ベロシティが強いほど短時間で、弱いほど長時間で音程が推移します。



CREDITS

Graphic and UI design

VST Programming (JUCE)

Product Artwork

works by Masashi Yamazaki a.k.a/ DEBUG_MODE

NIRGUNA ユーザーマニュアル Ver 1.0.0

Written by MASASHI YAMAZAKI

Aug,2024

Copyright © 2017 - 2024 INTELLIGENT WIRE

All rights reserved

URL : <http://intelligentwire.jp/>

Email : info@intelligentwire.jp